

令和 4 年

第 2 回 教育委員会 臨時会

議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和4年 第2回 定例 **臨時** 委員会 議事録

委 員 会 日 程		会 場
開会日時	令和4年2月14日 午前・ 後 3時30分	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室
閉会日時	令和4年2月14日 午前・ 後 5時15分	
延会日時	平成 年 月 日 午前・後 時 分	
出席者	欠席委員	会議録署名委員
教育長 新発田 靖		仲川 正道
1番委員 仲川 正道		瀧川 紀子
2番委員 中村 友子		
3番委員 池 典比古		
4番委員 瀧川 紀子		
説 明 の た め 出 席 し た 職 員		
教育総務課	社会教育課	
課長 坂田 和三	課長 市橋 秀紀	
課長補佐 柳澤 正二	文化振興係長 鶴間 基宏	
総務係長 飯田 誠		
学校教育課		
課長 森 和人		
管理主事 福井 晴人		
傍 聴 人	有・ 無	
報 告 の 要 旨	「議事の概要」のとおり	

会議で行った選挙の結果
なし

会議に付議した事件の題目	
協議事項	1 令和4年度教育行政方針について 2 佐渡市文化振興ビジョン(案)について
報告事項	1 年度末の学校等の行事について 2 佐渡市小学校・中学校再編統合計画(素案)について 3 その他
次回会議開催日	
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数	
なし	
請願、陳情	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 有の場合、別紙のとおり
その他必要と認めた事項	
特になし	

【議事の概要】

<p>・新発田教育 長</p> <p>・坂田教育総 務課長</p>	<p>◎本臨時教育委員会は、午後3時30分から開催した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ただ今から令和4年第2回佐渡市教育委員会臨時会を開催いたします。・初めに、日程第1、「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は佐渡市教育委員会会議規則第18条の規定により、仲川委員と瀧川委員の2名を指名いたしますので、よろしくお願ひいたします。・日程第2、協議事項1番の「令和4年度教育行政方針について」、事務局の説明を求めます。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和2年9月に策定しています教育振興基本計画に3つの基本目標と、これを達成するために必要な18の施策を掲げています。その達成に向けた令和4年度の方針、取組について教育行政方針でお示しをしているところです。教育委員の皆様からいただいたご意見について、修正箇所のご確認を含め、ご検討くださるようお願いいたします。・教育行政方針は2月21日に予定の市議会議員全員協議会で配付しまして、3月1日の市議会3月定例会の本会議において教育長から演説をいただくことになっています。・教育総務課は、1ページの「ICTの急速な進展」の後に「への対応」を加えて、「ICTの急速な進展への対応など」とさせていただきました。 また、「明らかになった課題」というところでは、教育大綱、教育振興基本計画に掲げる18の施策に関する事業について、毎年「事務の管理及び執行の点検及び評価」を実施させていただいています。PDCAサイクルによる自己評価を行った後、外部の学識経験者の方から点検をいただいています。これを踏まえながら来年度の方針を作成しているところです。・2、3ページでは、教育行政方針演説の前に市長が令和4年度の市政方針演説を行いますが、その中で校務支援システムについて同様の記述、演説がございます。そのことから、システムの説明に係る部分の記述で重複するところもありますので、一部削除して調整をさせていただきました。・3ページでは、記述が重複していた部分を削除させていただきました。・6ページでは、「児童生徒が安心して学べる環境づくりに努めます」というところを「児童生徒が安心して学べる環境づくりに努めるとともに、防災教育の実施を指導・支援します」として、教育振興基本計画にある防災教育についての記述を加えさせていただきました。・11ページでは、「児童生徒数や学級数が減少している状況を踏まえ」の前に「急激に」を加えるというご意見をいただきました。推計では小学校の児童は全体で令和3年度から9年度まで466人、21.5%減少、中学校の生徒は、令和3年度から9年度まで140人、13.1%減少する見込みです。急激にという記述が適切かもしれませんが、引き続き減少していく状況を市全体と各学校の児童生徒数、学級数の推移をお示ししながら、客観的に見ていただくことを踏まえて、減少するという記述にしたいと考えています。
---	--

・ 森学校教育
課長

- ・ また、佐渡市小学校・中学校再編統合計画について、「佐渡市小学校・中学校再編統合計画」の策定を進めてまいります」としていたところ、「計画」を令和4年度中に策定・公表し、小中学校の再編統合について、検討・協議を進めます」とする記述にさせていただきました。

【説明要旨】

- ・ 2ページでは、「学力等に関する各種調査結果をもとに、佐渡市及び各小中学校」で終わっていたところを、具体的に「学校における学力・学習習慣・生活実態等に係る課題を解明し、その解決を目指します。合わせて、ICT活用支援、教員研修の充実に重点的に取り組みます」という文言を入れました。また、今回の改正が「文部科学省GIGAスクール構想等に基づき」という趣旨を入れさせてもらいました。
- ・ 3ページでは、「特別の教科「道徳」において「考え、議論する道徳」の定着を図り」の後に「いじめ見逃しゼロ等を目指します」に直させてもらいました。
- ・ 「佐渡市総合教育センター主催「道徳授業に関する研修」「人権教育、同和教育研修」を行い」と改め、主催、後援事業の順番を入れ替えさせてもらいました。
- ・ 「コロナ禍での低下が懸念される児童生徒の体力向上に取り組みます」として、子どもたちの体力に関わる状況の文言を入れさせてもらいました。
- ・ 5ページでは、先ほどと同様に「GIGAスクール構想に基づき」という言葉を入れました。
- ・ 6ページでは、防災教育の他の関連業務として、「警察や消防、災害のメカニズムを学ぶためのジオパーク推進室等、関係機関と連携した防災教育の実施を指導・支援します」と、関連性を具体的に示しました。
- ・ 心の健康チェックアンケートでは、「早期発見に努めます。また、相談や支援体制においては、教育支援センターを整備して適応指導教室や訪問指導事業等を充実させるとともに、子ども若者相談センター等の関係機関との連携を図ります」という文言を追加しました。
- ・ 2ページのICTの活用について、「効果的な活用」とありますが、評価をどのようにするのかという質問への回答です。活用時間と活用事例の調査を行い、教職員、児童生徒からのアンケート調査を基に評価したいと計画しています。
- ・ また、県教委、校長会、特にPTA連合会とはどのような連携を図るのかという質問への回答です。県教委からは情報提供、アドバイス、助言を受けます。校長会とは情報を共有し、一緒に推進を進めていきたいと考えています。PTA連合会とは家庭生活習慣に向けた啓発活動をすることで、連携強化を進めていきたいと考えています。
- ・ 施策2、道徳の教科と教職員の研修で取り組む内容について、それ以外の取組への質問がありました。この方針の中には示していませんが、教育活動全体を通して道徳教育を充実させ、道徳性を養っていきます。これは、常

に何かあったらその都度子どもたちに振り返らせるということで、常に意識して取り組んでいきたいと考えています。

- ・ 4ページでは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは、具体的にどのようなものなのかという質問です。幼稚園要領の中に健康な心と体、自立心、共同性、思考力の芽生え、道徳性、規範意識の芽生え、社会生活との関わり、自然との関わり、生命尊重、豊かな感性と表現、数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚、言葉による伝え合いという内容が挙げられています。佐渡市の幼稚園、保育園の運営指針でも、関係づけた目指す姿が具体的に示され、教育が進められることになっています。
- ・ 「佐渡学」を中核とする郷土学習」の成果をどのような方法で評価するのか、短期及び長期ということでの質問です。現在作成中の佐渡市総合計画では郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進を施策の一つに挙げ、自己肯定感の肯定的評価率を令和8年度までに小学校は85%、中学校は75%にすることを長期評価として目指しています。短期評価は、小学校ではみらいずノートの活用率を挙げています。中学校では課題解決型職場体験率を短期目標とすることや、生徒アンケートを実施し有効性を評価しています。また、毎年実施される全国学力調査の郷土愛に関わる質問事項もありますので、注目して評価していきたいと考えています。
- ・ 世界と共生する人材育成の観点から英語教育は重要であるということで、そのために人材確保は重要であるが、その他に取り組むことはという質問について、中学校学力向上プロジェクトを来年度引き続き実施し、英語教育の充実に努めていきたいと思えます。また、小学校5、6年生と中学校の全生徒に、国の予算で英語のデジタル教科書を配付する予定ですので、効果的な活用を学力向上プロジェクト等で先生方と共有して、授業、家庭学習などに生かせるようにしたいと考えています。
- ・ 学校、家庭、地域が協力した見守る体制づくりとは具体的にどのような場面でどのような体制を考えているのかという質問について、スクールガードリーダーは現在12名が登録されていますが、まだ登録していない地区を広げていきたい。また、コミュニティースクールで児童生徒の見守り体制を検討してもらい、ながら見守りなど可能な限りの範囲で実施を進めていきたいと考えています。
- ・ 大学との連携では、オンライン授業はどのような授業を何程度くらい実施するかを考えているのかという質問について、今年度は新潟大学教職大学院生等に佐渡側から講義を計3回実施しました。佐渡学を中心に、佐渡市の教職員が大学院生に情報発信をしています。来年度は佐渡の方への情報をいただくことも検討して続けていければと考えています。
- ・ 大学、大学生の交流として、今年度新たにどのような活動を考えているのかという質問について、佐渡市が補助している人材育成事業で、小中学生と大学生の交流を今年度は実施することができました。学習意欲向上プロジェクト等による交流も幾つかの中学校区で大学の先生との研修が実施され

<p>・市橋社会教育課長</p>	<p>ました。今後は新潟大学附属小学校との連携ですが、2月18日に松ヶ崎中学校区で研修が予定されています。</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8ページでは、施策15、佐渡が誇る資産を活用した学習の推進として、ジオパークについて、「子どもの学習発表の機会を設け、ジオパークガイドを養成するなど、市内外から活動に参加し楽しく学ぶことができるような取組を進めます」と訂正しました。 ・ 「佐渡博物館では、見て、触れて、楽しみながら郷土を学び合う場を提供し、来館者に満足してもらえる博物館を目指します」と訂正しました。また、「出前講座」を「出前授業」に訂正しました。 ・ ジュニア学芸員事業とはどのような内容で、育成されたジュニア学芸員をどのように活用していくかという質問について、現在ジュニア学芸員は、1、2年生を対象にR3年度から事業を進めています。1、2年生を対象として講義が2回、実技が4回の計6回としたところ、予想以上に募集人数が集まって、やりたいという子たちは多いのが分かったので、来年度に向けて、また進めていきたいと考えています。ジュニア学芸員は、いずれ学芸員になって、佐渡に帰ってきてくれればありがたいというところも付け足してジュニア学芸員にさせてもらいました。今回の6回の内容は、博物館の展示品、学芸員のお仕事の紹介、化石の観察とか植物の観察、鬼太鼓の実習、無名異焼の実習とまとめという形で佐渡の文化、歴史、いろいろな部分を勉強してもらうことを考えて行いました。今年度は26名の子たちが参加しました。我々の方では6年間、1年生から6年生までをイメージして、子どもたちには勉強を6年間継続しようということで、学芸員が一生懸命子どもたちのために授業内容を考えたものです。 ・ どこまで活用するかというところは、子どものガイドということがよくありますが、私は今まずは佐渡の文化、歴史に触れてもらいたいと、博物館が何かということを知りたいと考えています。子ども向けの博物館祭りなどの取組のときにお手伝いしてもらって、リーダー的な子どもたちに育てていきたいと考えています。糸魚川は今年2名の子どもが大学卒業して糸魚川に学芸員として帰ってきたそうです。我々もそういうところを夢に見ながら、子どもたちに佐渡のことを教えていきたいということで、ジュニア学芸員事業をスタートさせました。
<p>・新発田教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にいただいたご指摘、質問についての修正部分や考えについてお話しさせていただきました。 ・ 順番に見ていきたいと思いますが、1ページの、はじめののところですが、修正箇所1か所ですが、その点についてご質問、ご意見ございますでしょうか。
<p>・仲川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に15個ほど意見述べましたが、修正等で受け入れていただきありがとうございます。 ・ この「ICTの急速な進展」については、「への対応」という文言を私の

<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育長 ・仲川委員 ・新発田教育長 ・委員全員 ・新発田教育長 ・仲川委員 	<p>方で入れさせていただきました。世界のICTの進展に佐渡が躊躇しているようなイメージが、「急速な進展」を「課題」と考えると出てしまう。薄々そう感じているのかもしれませんが、しっかり対応することを目指さないといけない。積極的に取り組んでいく姿勢を表す文章にさせていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 が間違いなく来る。それもしっかりと受け止めていくと、前向きに受け止めていくということでしょうか。 ・ そういことです。 ・ それでは、1ページ目よろしいでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 基本目標の1番、2ページ目、3ページ目、4ページ目の途中まで、基本目標の1番、施策1から施策5までありますが、いかがでしょうか。 ・ 毎年言わせていただいておりますが、基本目標1施策1は佐渡市教育委員会の学力に対する姿勢の甘さが表れています。我々が置かれた現実、一向に学力調査に表れた学力停滞が改善されないということです。それをしっかり受け止めて施策を打たなければならない。学校は、第一義的に勉強するところです。そして、基礎学力をしっかりとつけて上級学校へ、あるいは社会に送ってあげる。そういう学校の役割を認識していただいて、低学力にしっかり対応していくのだという姿勢を施策1では必ず毎年表していただきたいし、実行していただきたい。 ・ 先ほどICTの急速な進展のところでも述べましたが、もう待たなしで次の近未来がやってきます。そのために今文科省もGIGAスクール構想を出して、各教育委員会を刺激しているところです。我々の教育委員会でもしっかりと取り組んでいきたいという姿勢を、この機会に表しておかなければならない。GIGAスクール構想の文言を入れる必要があると思います。 ・ 他の会議でも言ったと思いますが、道徳を教科として教育課程の中に入れたそのきっかけはいじめの問題です。二度とああいう不幸なことを招いてはならない。道徳教育がいじめ対策に効果的に機能するように、しっかりと意識づけるためにも文字に表しておいた方がいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育長 ・池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘、ご意見受けての先ほどの課長からの修正点ではありますが、しっかりとその意図を私ども受け止めて、対応していくということでございます。 ・ 2ページの10番の効果的活用ということで聞かせていただきましたが、先ほどもあった事例調査や生徒へのアンケートを見るという話がありましたが、生徒のアンケートが一番大事かなと思っています。いろいろなものが入り込んで、今までにないものを作って、新たな取組をしていますが、それがただやりましたというのではなく、それが確かに子どもらの力になっているかどうかが一番大事かなと思っています。その辺生徒もただアンケートに答えるだけだと、はっきりとした形では表れてこないところがあるので、職員も

<ul style="list-style-type: none"> ・坂田教育総務課長 ・池委員 ・坂田教育総務課長 ・池委員 ・坂田教育総務課長 ・池委員 ・新発田教育長 ・委員全員 ・新発田教育長 ・池委員 ・仲川委員 ・池委員 	<p>含めて何らかの形で、それが確かに効果的であったのかという検証をすることが大事かなと思います。難しいですが、ぜひ何らかの形で取り組んでいただくとありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ページに戻って、明らかになった課題は何かというのは、私が出したのですが、これは昨年度の施策を基にして明らかになった課題が基なんです、その課題は何なのか。他のところ見れば出ているのかもしれませんが、この文章を読んだだけでは、施策の中にも何が課題だったかはっきりと見えてこない。例えばここに書いてあるのは文科省のものや、いろいろと書いてありますが、実際に施策を佐渡市でやって、これが課題だというのが何なのか伝わってこなかったの、書かせていただきました。それをはっきりとして、それに焦点当てた取組をしていかないと、ただやりましたということになってしまいそうな気がします。明らかにできれば明らかにしてほしい。特にこれが弱いということが、それがその施策の中に表れてくると一番いいのかなと思います。 ・ 確認をしてもらっているところももちろんあるのですが、確かに考え方としては先ほど申し上げた考え方で、次の方針ということでお示しをさせていただいておりますが、その中でやはりより具体的にというお話ですか。 ・ 課題が出ているのですよね。その課題が何なのか。その出てきた課題に焦点を当ててやっていくのが一番大事なのかなと思うのですが。 ・ それぞれその部分も押さえつつ方針は示していますが、そこも表現が足りないところがあるかと思いますが。 ・ これはこれでいいと思いますが、何らかの形でそれをはっきりさせておいていただいて。 ・ またしっかり織り込んでいくように、またこの後やらせていただけたらと思います。 ・ 聞かれたときに、答えられた方がいいのかなという気がします。 ・ それでは、基本方針1についてはよろしいでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 次に基本目標2、郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進ということで、4 ページ、5 ページの途中まで、ご質問、ご意見ございますか。 ・ 前から話していますが、佐渡学を中心とした郷土学習の件ですが、短期的、長期的と書いてありますが、送られてきた佐渡市文化振興ビジョンの中のアンケートを見ていると、何となく疑問が出てくるのかなという気がしました。13 ページから 14 ページ、15 ページを見ていると。 ・ アンケートは何種類かあるけど、どれですか。 ・ 生徒アンケート・中高生アンケートを見ていると、佐渡学の方で中学校、小学校は非常にいろいろな佐渡の文化等を体験学習していますが、これが大人や高校生から上になったときに、本当に佐渡に残って、文化を継承していこうと思うようになることが大事なのです。15 ページ辺りだと伝統芸能が
---	---

<p>・市橋社会教育課長</p> <p>・仲川委員</p>	<p>面白いと思わない、興味がない生徒がかなりいたり、難しくて分かりづらいのがいたり、このように高校生、中学生に出てくるということ、これを見るとせつかなのに、長期的なところで生きてこない。結局なかなか根づくことにはならないのかなと思いました。学校では 90%以上、小学校も中学校もやっていますので、このときの評価は多分いいと思いますし、子どもたちの感想も非常にいいのです。それが中高になってきた場面であまり興味がないとか、何やっついていいか分かんないとか、面白くないというのが 70~80 人ぐらいになってきている状況です。この現状を解決するためには、ここにもありますが、その場を生かすとか、ずっと発信するとか、そういったものも入ってこないと駄目なのです。できれば施策で終わるのではなく、長期的に動向を見ていく調査をぜひしてもらって、卒業した子どもたちが興味を持ったとか、その評価がよくなってくような形にならないと結局は佐渡にずっと住み着いてやろうという子どもにはならないかなという気がします。その辺のところも長期的な形で見ていただければありがたいと思います。大変難しいことで、言っていることも難しいと思いますが、それをしないと結局やりました、子どもらもそのときよかったです。でもそれがつながりませんという形になったらせつかく頑張ってきた意味がないし、子どもたちがもっているものを生かすことなく終わってしまうという気がしますので、ぜひその辺の長期的に探る手だてか何かを示していただきたいなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この中にもありましたが、発表の場や発信がやはり大事だと思いますので、その辺のところを鍵を握っているかなと感じます。 ・ 実は高校生ぐらいになるともうぴたっと止まってしまう状況があって、私は高校で自分がどうだったかと。自分のときにはそういう文化的なことほとんどなかったかなと。今度自分の子どもが中等行っていたときに、中等教育学校ではある程度文化的なことが見えたかなと思ったのですが、以前の両津高校ではまずなかったなというのが自分の感想です。私たち今つなげるためということで、先ほどのジュニア学芸員もそうですが、やはり小さいうちから継続してつなげたいというところと、学校側がやるのではなくて、私たち今無形の部分でつなげていきたいなと思っている中で、文化財団の中で子どもの人形芝居とか能をやる、もちろん先生方、佐渡にいる人たち、自分たちがやっぱり育ててほしいので、そういうところで教室を打って出ようかなと思って、子ども向けの教室を文化財団の主催で動く予定です。できれば学校任せではなくて、もともとやっている人形芝居の方々とか能の方々のところへ直接行って、小学校卒業して、中学校卒業しても、つなげられるような人間関係をつくった中で伝統継承につなげることができないかなというところで、文化財団の方で今年、来年度ですけども、予算を取って、国の予算ももらって、少し動いていきたいなと考えております。 ・ 今の池委員と市橋課長の言われたことに関連して、私はほどほどにやれる範囲で佐渡学や郷土学習を推進すればよいと思っています。自分の昔のことを考えてみてください。子どもの頃からふるさとが好きで好きでしょうが
-------------------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 市橋社会教育課長 	<p>ないとか、高校になってもふるさとがいいという人は全員ではないのです。みんな一度は外に興味関心が湧く。だから、人生の視野が広がっていくのです。日本の別の地域であるとか、海外であるとか、今まで自分に関わりの薄かった異文化に興味を持ち始める。中学校から高校にかけてはそういう時期なのです。そのことを認めてあげる必要がある、あまり押しつけがましく郷土、郷土と言いつつはならない。バランスのとれた良い教育をしていれば、自然と郷土への愛着が将来よみがえってくる。東京に住んで佐渡に帰ってこないけど、やはりこの時期になると佐渡の鬼太鼓のあの音が聞こえるようで心が騒ぐ。そういうもので私は結構だと思う。私は郷土芸能をあまり強引に推進してはならないと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 反論するわけではないのですが、私今去年からここ来ている中で、羽茂の民謡同好会、羽茂高校の成人したOBの子たち、やはり島外出て、また帰ってくる。そして、入る子たちもいるので、やはりそういうところ1人でも2人でもつながっていければいいかなというところで、今回少しでもつなげたいという気持ちがあるものですから、社会教育課としては無理しない程度ですが、そこはしっかり考えていきたいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市橋社会教育課長 ・ 森学校教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私もそれには賛成していますので。 ・ 分かります。羽茂高校でいい例がありましたので、私はそれを見習いたいなと思っています。 ・ 学校の方ではキャリアパスポートを始めていますが、今年度から年長児、小学校入る前の子どもたちからもそのときの思いなどを書いてもらって、小学校、中学校とキャリア教育を通して、いろいろな体験をしたときの自分の思いとか、自分の夢とか、郷土に対する感覚とかを記録に残していますが、それを高校の方にしっかり渡して、園児のときから中学校3年生まで学んできたときのその時の自分の感情をいつでも見れるようなものを高校生になってももってもらう。高校生になって、それを活用してもらったりしたいと思いますが、そうでなくても自分のことを振り返って見れるようなものになるかと思いますが、しっかりつなげて、保育園から小中の学びが高校生でもしっかり自分の心に残る、また外に出る生徒さんにもいるとは思いますが、心にしっかり残せるような手段として活用していきたいなと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の方も無理やりではないのですが、少子化でこれだけ人数少なくなっていますので、せっかく良いものがなくなる可能性があるわけで、生徒が帰ってきたいとか、やりたいと思うようになってほしいなと思います。そのために絶対やれというのではないのですが、何をすれば良いかということ、そう思えるようなものがあるといい。例えばある会で発表した羽茂高校を見ましたが素晴らしいです。やっている子はもう喜々として、実際聞いてみないと分かりませんが、ものすごくプライドをもってやっていると思います。あなってくると続けるかなと思いますので、そういう場面があって、そのように思える子が増えてくれれば、少ない人数でもつながるのではないかと期待はもっています。今200人ぐらいしかいなくなり、その中でやってもいい

<p>・仲川委員</p>	<p>かなというのが70%ぐらいしかいなかった。その中で島外に出してしまうと、残ってやるのは数人ということになってくるので、その辺のところは見ていきたいなど、厳しいところですが、何とかつなげられればいい、なくしてしまいたくないという気持ちがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私が好きな話なので、とてもありがたいことを言っていたと思います。行政や学校が仕掛けをしなければ郷土芸能を引き継いでいくということはなかなか難しい。仕掛けがうまくいくと、その仕掛けの中でぐんぐんと成長する子どもが出てきます。だから、我々は仕掛けを作ってあげて、子どもが上手に入っていくやすいようにしてほしい。 ・ 例えば1995年、今から27年前に全国持ち回りの全国高等学校総合文化祭が新潟県に来ました。その3年前に新潟県教育庁から、佐渡で郷土芸能部門の全国大会をやるように指令が来しました。佐渡には高校に一つも郷土芸能部がなく最初は困りました。それから丸2年かけて、1995年に間に合わせるように、各学校にお願いして、郷土芸能部をつくってもらったところから入りました。赤泊分校、佐渡女子高校、相川高校、佐渡高校に各1つつくってもらい、今名前が出てこなかったところはその他のお手伝いをしてもらおう。両津港と小木港の送迎、花の装飾や会場設営等の協力をしてもらおうということでした。そのときに蒔いた種がやっと芽を出してくれて、大会後も特に赤泊分校と佐渡高校がととても一生懸命に育ててくれたのです。残念ながら赤泊が閉校になりましたので、赤泊で育った活動を羽茂にもって行って、羽茂に郷土芸能部をつくってもらい、羽茂が今の状況を維持してくれている。大変素晴らしい卒業生も育っています。種をまくということが次につながっていきます。待っていても育ってきません。意識的に学校に種を蒔くことを具体策としてやってもらいたいと思います。その中でやはりできないという場合は諦めないといけない。次の世代が選択しないのであれば、それは次の世代に必要なことなのだろうと割り切って、残せるものだけを何とか施策をつくって残してあげてもらいたいと思います。
<p>・瀧川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前にお話しさせていただきましたが、マイスター制度というのを佐渡学で取入れてはどうか。新潟県にもものづくりのマイスター制度があり、三条市、加茂市、燕市、弥彦村、田上町などで、高度熟練技能者を大体13人～15人毎年認定しています。それを、佐渡の場合は佐渡学でマイスター制度というのを芸能を一つの技術と考え達人と認め、頂点には教えてくださる講師の先生がマイスターとなり、階級制として、学生のうちから積み重ねで上がっていく制度です。例えば、中学生で能や文弥人形の何の演目をやったというのを、必ず認定カードに書き込む形で認定してもらおう。高校に行っても自分はこの演目は踊れるとか、何かの一つの自信につないでいけるようなものがないと、言葉で何ができると言っても伝わりにくいが、佐渡市で統一したマイスター認定制度があれば将来につながり上っていくという状態である。もしも、大学が終わってから佐渡にふらっと帰って、鬼太鼓の役割だったらできるとか、白鬼踊れるというのが自然と昔はあったように、どの芸能も地域が

<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<p>一緒になった明確な基準を、佐渡学統一でつくっていくのも一つの手ではないかと思いました。また、小学校1、2年生から、先ほどの博物館の学芸員を育てるのも同じようなポイント制に従っていくと、将来に向けてそれが一つつながりになると良い。学んだ記憶だけでは難しいと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今のは一つのアイデアとして、今後のまた施策の方に生かせるということがあったようですが、教育等で何か使う、活用できればということ。
<ul style="list-style-type: none"> ・委員全員 ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは5ページ、基本目標3、安全・安心な学校づくり、6ページ途中までのところですが、いかがでしょうか。 ・ 質疑なし ・ それでは、ここは質疑なしということで、基本目標4、高等教育・研究機関等との連携の強化について、6ページ、7ページですが、いかがでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・委員全員 ・新発田教育 長 ・池委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし ・ 7ページから9ページ、基本目標5、一人一人が学び続ける学習環境づくり、これはいかがでしょうか。 ・ ジュニア学芸員ですが、趣旨はよく分かりました。いろいろなことに触れて、理解していくというためというのが分かったのですが、今年は定員が26名ということですが、この定員は何名ぐらいの定員を考えながら行っているのですか。
<ul style="list-style-type: none"> ・市橋社会教育課長 ・池委員 ・市橋社会教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期、後期制で今回やってみて、前期がコロナだったもので、それこそ二十何人来たのですが、人数を5人に抑えたのです。後期が21名。大体前期、後期で20人ずつぐらいかと考えています。 ・ これは、継続していくわけですか。 ・ 継続していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 ・委員全員 ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他いかがでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 9ページ、10ページの基本目標6、家庭・地域の教育力の充実について、いかがでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・委員全員 ・新発田教育 長 ・仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし ・ 11ページ、おわりにになります。再編統合に関わって、期間をしっかりと示してということも受けて修正であります、いかがでしょうか。 ・ おわりにの再編統合計画の策定に関して、私どもがいただいた原案では「再編統合計画の策定を進めてまいります」という簡素な言葉でありました。実は令和3年度の教育行政方針には言及がありませんでしたので、その時に入れていただきました。今回は入っていたのですが、「策定を進めてまいります」というあまり積極的でない表現がありました。すでに統合計画の進め方のプランが出ているわけですから、その姿勢を示すべきときに来ているのではないのでしょうか。私の修正意見では、統合計画を「令和4年度半ば

<ul style="list-style-type: none"> ・坂田教育総務課長 	<p>までに策定し、計画の実施に着手します」と明言するようにしたのですが、事務局が書き直してくれたのは弱いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘のところであろうかと思えます。ただ、確かに計画を進めることにはなるのですが、やはり行政の方で方針として進めるといった言い方もあるかと思うのですが、やはりこの計画については行政だけではなくて、皆さんと一緒に協議、さらに検討しながらしっかりそれを進めていくということに、それを基本とさせていただきたいと考えておりますので、皆さんと一緒にというところを含めて検討、協議を進めるといった言い方にさせていただいたところでございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回計画についてどのように今後進めていくかというお話もさせていただいて、今課長からも説明あったわけですが、確実に進めていきたいという思いはもっていると思えますので、その進め方として検討、協議という言葉を使うということになりました。また、進捗状況お伝えしながら進めていきたいと思えますので、ご理解いただきたいと思います。 ・ その他おわりにのところで、いかがでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・委員全員 ・新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし ・ 全体を通して教育行政方針、何かございましたらお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・委員全員 ・新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑なし ・ 質疑なしと認めます。 ・ 教育行政方針は、3月1日招集予定の市議会本議会で朗読することとします。 ・ 協議事項2番、「佐渡市文化振興ビジョン（案）について」事務局の説明を求めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・市橋社会教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐渡市文化振興ビジョン、今年度策定ということで、この後議会、パブリックコメントと流れていきたいと考えております。 ・ 内容について文化振興係の鶴間係長の方から説明いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・鶴間佐渡学センター文化振興係長 	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化振興ビジョン（案）とアンケート結果を4種類配付させていただきました。文化振興ビジョン（案）は差し替えを5枚配らせていただきました。修正は文字の体裁を整えたようなところです。 ・ 文化振興ビジョン（案）の全体説明について、1章から4章までの概要を説明し、参考資料のアンケート結果、懇談会の開催要綱、懇談会参加者名簿、懇談会開催経過などを説明した。この後議会、委員会等の意見をいただき、パブリックコメントを経て、再度、教育委員会に提案して、策定という流れを説明した。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育長 ・仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章ごとにご意見いただきたいと思います。 ・ 目次及び第1章について、質問等お願いいたします。 ・ アンケートも含めると全部で120ページぐらいあって、深読みはできなかったのですが、ざっと表面だけなでさせてもらいました。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴間佐渡学センター文化振興係長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3ページの集合図ですが、これは佐渡で今回独自に作ったものでしょうか。 ・ この図面、他の市町村のものを参考にはさせていただいてはおりますが、この中のものは佐渡のものも含めたような形で、独自で作らせていただきました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3ページ真ん中の集合図と、文化芸術基本法の例示とが合うような合わないようなところがある。特に若者のアンケートに出てきたICT関係のいわゆるデジタルアーツがこの集合図の中に取り込まれていないことが気になった。それから佐渡の伝統工芸がどこに入るのか明確ではない。例えば陶芸、裂き織り、竹細工はどうなのか。伝統工芸が、民具というのはちょっと違うような気もする。明快に答えられるようにしておいてほしいし、もし変更可能であれば、そういうものも分かるように入れていただくといい。それから、版画。せっかくはんが甲子園があるのに、版画が出ていない。もし検討の余地があるのであれば、この図をもう少し工夫してみてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴間佐渡学センター文化振興係長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のICT関係は、3つの丸でいうと上の部分になるかと。創造性豊かな芸術分野の文化というところになるかと思いますが、また伝統工芸という文字は右側の丸の中に、伝統芸能の下に伝統工芸と記載はしてありますが、陶芸だとか具体的なものが書いてありませんので、ここは修正させていただきたいなと思います。より佐渡ならではの形に、見え方になるような形で修正をさせていただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田教育長 ・ 委員全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他いかがでしょうか。 ・ 質疑なし
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5ページから11ページ、第2章でご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育課に係る文書の用語の使い方であります。学校教育課は相当用語に気をつけて、統一が取れるようになったのですが、社会教育課はあやふやなところがある。例えば8ページの下から2行目、学校教育課では「安全、安心」に統一したはずですが、客観的な安全があつて、主観的な安心が生まれるという論理展開ですので、安全が先に来るということで統一している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴間佐渡学センター文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15、16ページで、皆さん気にならないでしょうか、「取組」という言葉。例えば16ページの真ん中辺りの「取組を続けています」。送り仮名全く入れないで「取組」となっています。これが学校教育課での使い方のはずですが、ところが、16ページの上から3行目には「取り組み」と送り仮名を2つつけて名詞として使っています。15ページにも混在しています。15ページの下から4行目では送り仮名の真ん中を省いて、動詞として「取組んできた」となっています。誰かが気をつければ一気に統一ができるはずですので、全てのページを再確認していただけるとありがたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴間佐渡学センター文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今言われた8ページの安全、安心という部分、それから取組という、様々なところで出てくるかと思いますが、もう一度チェックさせていただきま

<p>振興係長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 <p>鶴間佐渡学 センター文化 振興係長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田教育 長 ・ 委員全員 ・ 新発田教育 長 ・ 仲川委員 <p>市橋社会教 育課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新発田教育 長 ・ 委員全員 ・ 新発田教育 長 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員全員 ・ 新発田教育 長 ・ 仲川委員 	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名詞として使うときには送り仮名を全部取る。動詞として使うときには「取り」の「り」を入れ、「組む」の「む」を入れる。それが行政上の使い方だと思います。 ・ 分かりました。勉強不足で申し訳ありません。そのような形に全て統一させていただきたいと思います。ありがとうございます。 ・ それでは、第2章よろしいでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 12ページから22ページ、第3章いかがでしょうか。計画体系図までいかがでしょうか。 ・ このビジョンの最も大事なものは第3章だと私は思います。どのような方向性で進めていくか、具体的なアクションプランにどうやってつなげていくか。前回別の用件で世界遺産課の文化財室が来られたとき、今佐渡で住職さんや神主さんが住まわっていない寺社が相当数あることについて質問しました。その中には文化財指定を受けたもの、あるいは未指定でも、大変価値があると思われるもの。博物館との連携で上手な保存活用ができないものかという提案もさせていただきました。「問題意識をもっています」という答えでした。問題意識があれば次にアクションにつなげていくのだろうと期待します。15ページの①の1にはあまり具体化はされていませんけれども、いい具体策を考えて、次につなげていただきたい。 ・ 内容については委員の中で、世界遺産課の課長も委員になっていまして、アクションプランでうまく書けるかどうかというところで検討しないといけなという話はしていますが、なかなか難しい問題だとは思っていますので、しっかり考えていきたいと思っています。 ・ ご意見いただいたということで、お願いいたします。 ・ その他、第3章、いかがでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 23ページから25ページまでの第4章は、市民、文化団体、そして市、教育関係、そして一般財団法人、企業ということ、そして最後アクションプランをこれからつくっていくという構成だと思いますが、よろしいでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 参考資料26から最後、修正がありました委員の名簿、そして31ページまで、この後の予定も含めてであります。よろしいでしょうか。 ・ どこかで言おうと思ったのですが、最後まで来てしまって申し訳ない。 ・ 私は佐渡にここ十数年住んでいますが、転勤を重ねて佐渡へ戻ってきて、佐渡は市主催の講演会や講座がとても多いところだという感じをもちます。このようなサイズの島で、こんなに講演会等を持てば、佐渡市の職
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・市橋社会教育課長 ・新発田教育長 ・委員全員 ・新発田教育長 ・森学校教育課長 ・新発田教育長 ・坂田教育総務課長 ・新発田教育長 ・委員全員 ・新発田教育長 	<p>員が忙しくなるのは当たり前だし、講座をやるための施設の管理も必要だろう。社会教育課でどうやって多数ある講座を整理するか。どこか1つか2つの施設を講座専用施設に集約してしまっ、講座は必ずそこで行う。そこへ例えば午前1つ、午後1つというような形で集約をする。公民館に生中継の設備を作る。遠くて行けない人たちのために身近な支所、公民館等に受講施設を置く。リモートを活用しながら、職員が適切に、土日勤務をしなくてもいいように働き方改革にもつながるような形の集約の仕方を講座の方でも考えていただくといい。それほど豊富に佐渡市の職員がいるわけではないので今ちょうどいい時期ではないかと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しっかり考えていきたいと思えますし、施設の使い方も含めて、また我々考えないといけないなと思っていますので、よろしくをお願いします。 ・ その他佐渡市文化振興ビジョンについてご質問、ご意見ございますか。 ・ 質疑なし ・ 質疑なしと認めます。 ・ 日程第3、報告事項1番の年度末の学校等の行事について事務局の説明を求めます。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末、年度初めの学校行事についての報告。卒業式等について、来賓の祝辞は、新型コロナウイルス感染が佐渡で続いている状況とまん延防止等重点措置が3月6日まで延期され、3月7日が中学校の卒業式であることから、昨年度並みの対応を考えたい。卒業式と入学式は、各学校には来賓なしということで通知しました。教育委員会からは文面をもってお祝いをさせてもらい、式の時間短縮の方につなげていきたいと考えております。 ・ よろしくお願いいたします。 ・ あいかわ幼稚園、それから相川保育園の閉園式についてご説明させていただきます。 ・ あいかわ幼稚園と相川保育園が統合しまして、4月から相川こども園が開園する予定でございます。3月19日土曜日でございますが、あいかわ幼稚園と相川保育園の閉園式を予定しているところでございますが、先ほど学校教育課長からもございましたが、新型コロナウイルスの感染状況等踏まえまして、教育委員会からは教育長のみ出席ということで現在調整の方進めさせていただいておるところでございます。ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。 ・ ただ今2つ説明がありましたが、よろしいでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 質疑なしと認めます。 ・ 次に、報告事項2は公表前の内容が含まれていることから、佐渡市教委
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ・委員全員 ・新発田教育 長 	<p>会員会会議規則第7条の規定により秘密会としたいので、これに賛成の方は挙手をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挙手 ・ 挙手多数です。 ・ よって、報告事項2については秘密会とすることといたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 ・市橋社会教 育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【秘密会】 ・ 報告事項2「佐渡市小学校・中学校再編統合計画（素案）について」、坂田教育総務課長より説明した。 ・ 【以上の議案については、質疑を経て終了した。】
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に、報告事項3番、その他ですが、事務局から何かありますでしょうか。 ・ 社会教育課から報告でございます。チラシをお配りしましたが、去年までサンテラと言っていました総合体育館、ネーミングライツということで、企業の方からお金をいただいて名前をつけていましたが、一昨年で終わりました。今年度新しくネーミングライツを島外の企業とか島内企業いろいろ回りましたが、今このご時世、ネーミングライツというところで名前をいただくことができません。それと、総合体育館で両津と佐和田は間違いやすくなってしまったので、佐和田の体育館は名前をいただきたいということで、佐渡市総合体育館の愛称を募集しますということで、2月10日から2月28日まで、今回愛称検討会議の委員さんをお願いした体育館の利用者の方、親子で利用している方とか、若い20代、今年成人を迎えた方とか、団体に利用している人たちとか、計7人で委員を構成しまして、今回制定をするということで考えました。これは佐渡の方だけでなく、FMケントという新潟のFMラジオの取締役の方が佐渡出身、真野出身の人なもんですから、その方にもズームで参加していただいたり、あとITで、デザインで佐渡に来ているベンチャーのリュウズデザイン・プラスというところで代表取締役にも委員に入ってもらって、いろいろな意見をいただきながら、このチラシも我々作ったのですが、全部分かりにくいという意見をいただいて、直しました。それと、小学生や保育園児まで分かるようにとお母さんの方からもあって、全部読み仮名を振っていただきたいとか、いろいろな意見をいただいて、このチラシを作りました。実は先週の木曜日にホームページに上げたときに、次の日大体60件くらい問合せがあったということで、みんな興味もってくれているのかなというところで、これ3月中には決めて、4月から名前をつけていきたいということで、皆さんも分かりやすい名前で応募していただくとありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。これJA佐渡のお米と乳製品のセット頂けますので、ぜひ参加をお願いしたいと思いま
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 ・委員全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他委員の皆様からございますでしょうか。 ・ 発言なし

<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程第3、報告事項はこれで終了いたします。 ・ 日程第4、次回会議の開催日について事務局の説明を求めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 ・ 坂田教育総 務課長 	<p>【2月18日（金）に総合教育会議を開催することとしているが、終了後、教育委員会臨時会を開催したい旨を説明した。】</p> <p>【次回の定例会について、2月22日（火）に定例会を開催したい旨を説明した。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合教育会議のメニューを教えてください。 ・ 今のところ予定は、再編統合計画素案、市長部局の方で総合計画の状況、昨年教育コンソーシアムを立ち上げていますが、その活動状況について2点報告をしたいと企画課の方から話が来ています。
<ul style="list-style-type: none"> ・新発田教育 長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上で令和4年第2回佐渡市教育委員会臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。 <p style="text-align: right;">午後5時15分終了</p>